

第 78 回日本学校農業クラブ全国大会

令和 9 年度
びわこ近畿大会
(滋賀・京都・奈良)

実施大綱（素案）

付 全国農業高等学校長協会：第 160 回全国理事会

第 155 回総会並びに令和 9 年度秋季研究協議会

開 催 要 項 （案）

第 78 回日本学校農業クラブ全国大会事務局

趣 意 書

日本学校農業クラブ連盟（F F J）は、全国 47 都道府県の農業教育を主とする学科及び総合学科において農業に関する系列等で学ぶ約 7 万 5000 人の生徒（クラブ員）で構成されています。クラブ員は、農業に関する学習内容の理解を深めるとともに、地域に密着した視点と広く将来を展望した俯瞰的な視点を持ち、生徒の自主的・積極的な諸活動への参加を通して、本連盟の三大目標である「科学性・社会性・指導性」を高めることを大切にしています。そして日本の未来の農業や関連産業の担い手として、地球規模での食料生産や環境保全に主体的に携わる人材として活躍することを目指しています。

このたび近畿ブロックでお引き受けした「第 78 回日本学校農業クラブ全国大会」は、滋賀県を主管県として、京都府、奈良県の三府県の学校農業クラブ連盟が合同で企画・運営に携わることから、大会名を「令和 9 年度日本学校農業クラブびわこ近畿大会」といたします。全国大会は、クラブ員が日ごろの農業学習を通して探究的な学びに取り組んだ研究成果発表会や農業に関する知識や技術を競い合う競技会、各校での取組等を意見交換する会議等を実施します。全国のクラブ員約 3000 人が参加する農業を学習する生徒にとって甲子園のような存在です。

京都府連盟は、加盟校 10 校、クラブ員数 900 名で構成されます。古より京の都として、日本固有の文化とともに京料理といわれる郷土料理が育まれました。長い歴史の中で京料理は文化の一翼を培ってきました。それを支えたのは、20 品目以上の京の伝統野菜や地元でとれる米でした。今日においても、日本海から近畿中央部にわたる多様な地理的条件や気候の特性を活かし、稲作を中心としながら京の伝統野菜の他、宇治茶、北山杉、庭園等に代表される特色ある農林業や伝統的な技術を発展させています。

奈良県連盟は、加盟校 5 校、クラブ員数約 410 名で構成されます。本県では、古くから農業が発達してきました。奈良盆地では、雨が少ないことから多くのため池が作られ、今でも大小あわせると約 4,300 箇所を数えます。近世には、米の他に綿や菜種、タバコなどの商品作物が盛んに栽培され、「田畑輪換」と呼ばれる水田畑作の営農形態が確立されていました。現在は五條・吉野地域では、国営で開発された農地を中心にカキやウメなどの果樹栽培が盛んであり、カキは全国屈指の産地となっています。また、大和高原地域では、国営で開発された農地を中心に夏季冷涼な気象条件を活かしたお茶や高原野菜の生産が盛んであり、畜産や花き・植木栽培も行われています。

そして事務局を担当します滋賀県連盟は、加盟校 4 校、クラブ員数 1,200 名で構成されます。地形や気候が稲作に適しており、「みずかがみ」「きらみずき」などの県育成品種を中心に農薬や化学肥料の使用を抑えて琵琶湖の環境に配慮した水稻栽培を進めています。琵琶湖と共生する農林水産業（琵琶湖システム）は、千年以上に渡って受け継がれてきたもので、2022 年に世界農業遺産として国連食糧農業機関に認定されました。また日本三大和牛の一つとも言われる近江牛を生産する畜産業は、肥育経営を中心に発展し、近年は繁殖肥育一貫経営や大規模化が進み、1 戸あたりの飼養頭数は全国トップクラスです。

このような 3 府県が協力して、全国のクラブ員をお迎えし、参加された全てのクラブ員がこれまで培った実力を遺憾なく発揮して切磋琢磨するとともに、積極的な交流を通じて未来に向けた新たな一歩を進める機会となるよう、一丸となって努力してまいります。

つきましては、本大会の趣旨をご理解いただき、関係の皆様のご指導・ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

令和 7 年 4 月

滋賀県学校農業クラブ連盟会長（滋賀県立湖南農業高等学校 3 年） 池 永 ま さ み
京都府学校農業クラブ連盟会長（京都府立綾部高等学校 3 年） 長 澤 穂 佳
奈良県学校農業クラブ連盟会長（奈良県立磯城野高等学校 3 年） 光 川 翔 太
第 78 回日本学校農業クラブ全国大会事務局生徒実行委員長（滋賀県立湖南農業高等学校 3 年） 房 野 璃 虹
第 78 回日本学校農業クラブ全国大会事務局長（滋賀県立農業高等学校長） 速 水 宣 胤

I 実施大綱（素案）

- 1 開催地 滋賀県 大津市 甲賀市 長浜市 東近江市
京都府 亀岡市 奈良県 大和郡山市
- 2 主催 日本学校農業クラブ連盟 全国農業高等学校長協会
日本学校農業クラブ 近畿ブロック連盟 全国農業高等学校長協会近畿支部
滋賀県学校農業クラブ連盟 滋賀県高等学校長会農業部会
京都府学校農業クラブ連盟 京都府高等学校長会農業部会
奈良県学校農業クラブ連盟 奈良県高等学校長会農業部会
- 3 共催 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会 奈良県教育委員会
(予定) 会場市教育委員会
- 4 開催期日 令和9年10月19日(火) 審査員打ち合わせ会、リハーサル等
令和9年10月20日(水) 各種発表会・競技会、各種会議等
令和9年10月21日(木) 大会式典等
(令和9年10月21日(木)午後～22日(金)午前 全国農業高等学校長協会総会・研究協議会)

5 大会内容・会場・担当校 *会場等はすべて予定である

大会内容	開催場所	会場	担当校
プロジェクト発表会	滋賀県東近江市	滋賀県東近江市八日市文化芸術会館 滋賀県東近江市能登川コミュニティセンター	滋賀県立八日市南高等学校
意見発表会	京都府亀岡市	ギャラリーかめおか	京都府立農芸高等学校
平板測量競技会	奈良県大和郡山市	大和郡山市総合公園	奈良県立磯城野高等学校
農業鑑定競技会	滋賀県長浜市	滋賀県立長浜農業高等学校	滋賀県立長浜農業高等学校
クラブ員代表者会議	滋賀県甲賀市	滋賀県立甲南高等学校	滋賀県立甲南高等学校
代議員会	滋賀県大津市	滋賀ダイハツアリーナ	滋賀県立湖南農業高等学校
大会式典			
滋賀・京都・奈良 の農業展 日連コーナー			

- 6 参加者 日本学校農業クラブ員 約3,700名
全国農業関係高等学校長・教職員 約1,000名
来賓・審査員・役員等 約300名
(合計約5,000名)

- 7 大会事務局 滋賀県立湖南農業高等学校
〒525-0036 滋賀県草津市草津町 1839
TEL 077-564-5255 FAX 077-562-1186
大会事務局長 滋賀県立湖南農業高等学校長 速水 宣胤

Ⅱ 大会 内 容

1 プロジェクト発表会

I 類 農業生産・農業経営	1. 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2. 農業生産物の加工・流通・消費に関すること 3. 農業の経営や経済活動に関すること
Ⅱ類 国土保全・環境創造	1. 国土の保全や環境創造に関すること 2. 森林資源の活用に関すること
Ⅲ類 資源活用・地域振興	1. 園芸作物や社会動物の活用に関すること 2. 地域資源の活用や地域の振興に関すること

2 意見発表会

I 類 農業生産・農業経営	1. 農業生物の育成や生産性向上に関する意見 2. 農業生産物の加工・流通・消費に関する意見 3. 農業の経営や経済活動に関する意見
Ⅱ類 国土保全・環境創造	1. 国土の保全や環境創造に関する意見 2. 森林資源の活用に関する意見
Ⅲ類 資源活用・地域振興	1. 園芸作物や社会動物の活用に関する意見 2. 地域資源の活用や地域の振興に関する意見

3 平板測量競技会

4 農業鑑定競技会

10分野：作物・野菜・果樹・草花・畜産・食品・森林・農業土木・造園・生活

5 クラブ員代表者会議

6 代議員会

(1) 理事会

(2) 秋季代議員会

7 大会式典

・ 歓迎の集い

(1) 主催者・来賓あいさつ

(2) 審査講評・成績発表

(3) 最優秀発表 意見発表・プロジェクト発表

(4) 表彰

(5) 大会講評・大会旗引継

8 滋賀県・京都府・奈良県の農業展・日連コーナー

全国農業高等学校長協会

全国農業高等学校長協会：第 160 回全国理事会

第 155 回総会並びに令和 9 年度秋季研究協議会

開催要項（案）

- 1 主 催 全国農業高等学校長協会
- 2 期 日 令和 9 年 10 月 21 日（木）～22 日（金）
〔第 78 回日本学校農業クラブ全国大会に引き続き開催〕
- 3 会 場 滋賀県大津市内
- 4 参加者 全国農業高等学校長 約 2 5 0 名
- 5 日 程

10 月 21 日（木）	10 月 22 日（金）
全国理事会・総会	研究協議会
受 付 14:00～14:30	受 付 8:30～ 9:00
理事会・総会 14:40～16:40	研究協議会 9:00～12:00
教育懇談会 18:00～20:30	